

修了生の活躍事例

自分が楽しめるものを学びたい！ 溶接を仕事にしたい！

前職は花卉生産業でパートとして働いていました。退職後ハローワークでポリテクセンターのパンフレットを頂き、以前の仕事でアーク溶接に興味があったことを思い出し、退職をきっかけに新しいこと、自分が楽しめるものを学びたいと思い応募しました。

訓練も最初はやってみようかな？という気持ちでしたが6カ月間の訓練の中で被覆アーク溶接、半自動溶接、ティグ溶接の訓練はとても楽しく、訓練を受講していくうちに溶接を仕事にしたい！と強く思うようになりました。

訓練中の肩身の狭さなどは一切感じませんでした。

入所したタイミングの受講者の年齢は20代から60代まで幅広く、ほとんどの受講者は未経験者でした。私を含め溶接に興味を持って入所する同期の女性も数名いたので安心感がありました。金属加工など今までやったこともない訓練内容が多く、一つ一つの作業をこなすのが精一杯でしたが、テクノインストラクターの指導はとて丁寧で分かりやすく、基礎からしっかり学べ訓練期間はあっという間に過ぎたように思います。

受講中に溶接の仕事を探してたところ、年齢、経験問わず募集していた実松製作所へ工場見学にいき応募を決めました。

有限会社実松製作所

松永 理恵 さん (47)

[⇒前職：花卉栽培 (パート)]

溶接技術科
(6か月訓練)

令和5年9月 入所
令和6年2月 修了



自分で納得のいく仕事ができるようになりたい。

入社して10カ月経ち、現在はJIS溶接適格性証明を取得することができ、機械を使用した切断、穴あけ等の金属加工から溶接まで一貫した製缶作業を行っています。初めての業種の仕事でまだまだ分からないことが多く、親切に仕事を教えてくれる先輩方の指導に、自分の力が及ばないのが悔しく感じる時もありますが、できることを一つずつ増やし、少しでも技術を磨き、納得のいく仕事ができるようになることを目標としています。

就職先企業での活躍

松永理恵さんの業務

現在は鮮魚用網ボックスの製作を担当しています。クレーンやフォークリフトで材料搬入し、切断や穴あけ、角パイプや薄板の溶接を行っています。

板厚が違うJIS溶接適格性証明を取得のため先輩社員の指導を受け溶接の練習も欠かさず行ってます。



採用者の声 工場長 宮原 亮様

ポリテク修了生のうち2人が女性で2人とも溶接業務を行っています。松永さんはその1人で前向きにまじめに仕事に取り組んでおり、資格取得など様々な新しいことにチャレンジし、当社に欠かせない戦力になっています。



有限会社実松製作所 (佐賀県神埼市) 現在ポリテクの修了生4名が活躍

養鶏ケージ・自動化鶏舎システムをはじめとする畜産関連の製品を手がけ、その他に建築・土木資材として使用される溶接金網製品、住宅用ユニット基礎鉄筋、台車・パレット・タンク等の製缶製品を扱っており、お客様のニーズに合わせて、設計から製作、仕上げまでを一貫しておこなっております。

(主な事業)

- 畜産関連製品
- 鶏舎システム新築、改造
- 溶接金網製品
- 住宅基礎鉄筋
- 鉄鋼製缶製品
- 就労継続支援事業 (A型事業所)
- VINA SANEMASTU Co.,LTD. (ベトナム)

